

大学コンソーシアム富山 令和7年度「県内企業訪問事業」実施報告

事業名	大学コンソーシアム富山 教育連携部会 県内企業訪問 ―キャリアデザイン研修 2025―																													
実施機関名	国立大学法人 富山大学																													
趣旨・目的	県内7高等教育機関の学生が、専門分野（学部学科）や学年が異なる他大学の学生と共に、社会人としての心構えやマナーを学修し、県内企業についての事前研修を行うとともに、実際の就業現場を見て、そこで働く大学 OB・OG や若手社員と意見交換を行なうことにより、県内企業の魅力発見及び就業意識の向上を図ることを目的とし実施した。 【期待される効果】 ① 学生のキャリアデザイン形成支援 ② 就業意識の向上 ③ 県内就職定着の促進																													
実施日時	1) 事前研修 ① 企業研究は、参加学生が各自で実施 ② コース別ミーティング（対面開催/参加必須） （第1日）9月 4日（木）8：45～9：25（3コース・6企業/機関） （第2日）9月 5日（金） " （3コース・6企業/機関） （第3日）9月 8日（月） " （3コース・6企業/機関） （第4日）9月 9日（火） " （3コース・6企業/機関） 2) 職場訪問研修（現地訪問） （第1日）9月 4日（木）9：30～16：30（3コース・6企業/機関） （第2日）9月 5日（金）9：30～16：30（3コース・6企業/機関） （第3日）9月 8日（月）9：30～16：30（3コース・6企業/機関） （第4日）9月 9日（火）9：30～16：45（3コース・6企業/機関）																													
実施場所	1) 事前研修：国立大学法人富山大学（富山市五福 3190 番地） 2) 職場訪問研修：富山県内企業・機関（22 企業・2 機関）																													
参加人数	<table><tr><th>機関名</th><th>学生（名）</th><th>引率教員（名）</th></tr><tr><td>富山大学</td><td>112</td><td>4</td></tr><tr><td>富山県立大学</td><td>16</td><td>2</td></tr><tr><td>高岡法科大学</td><td>0</td><td>1</td></tr><tr><td>富山国際大学</td><td>12</td><td>2</td></tr><tr><td>富山短期大学</td><td>44</td><td>1</td></tr><tr><td>富山福祉短期大学</td><td>0</td><td>1</td></tr><tr><td>富山高等専門学校</td><td>2</td><td>1</td></tr><tr><td>合計</td><td>186</td><td>12</td></tr></table>			機関名	学生（名）	引率教員（名）	富山大学	112	4	富山県立大学	16	2	高岡法科大学	0	1	富山国際大学	12	2	富山短期大学	44	1	富山福祉短期大学	0	1	富山高等専門学校	2	1	合計	186	12
機関名	学生（名）	引率教員（名）																												
富山大学	112	4																												
富山県立大学	16	2																												
高岡法科大学	0	1																												
富山国際大学	12	2																												
富山短期大学	44	1																												
富山福祉短期大学	0	1																												
富山高等専門学校	2	1																												
合計	186	12																												

事業内容	本事業の目的に基づき、参加学生は、事前研修を受講した後、職場訪問研修に参加した。 1) 事前研修 ① 企業研究 ・訪問企業の概要資料等により各自で事前学習 ② コース別ミーティング（9月4日・5日・8日・9日 各日 8:45～9:25） ・グループリーダー及び記録担当者の選出 ・事前学習内容の発表 ・意見交換（知りたいこと、聞きたいこと） ・訪問企業での質問事項取りまとめ 2) 職場訪問研修 【第1日：1～3コース】 令和7年9月4日（木）（9:30～16:30） ・コース毎に各訪問企業・機関へ移動 ≪訪問企業・機関にて≫ ・会社概要・事業内容等の聴取 ・就業現場等の見学 ・社員（職員）との交流（懇談、質疑応答等） ≪帰着後、富山大学にて≫ ・コース毎での振り返り - 訪問企業等について印象に残ったことや感じたことについて意見交換 ≪レポート提出≫ ・研修終了後、一週間以内にレポートを提出（Microsoft Forms 使用） ※以下、各日、同内容にて実施 【第2日：4～6コース】 令和7年9月5日（金）（9:30～16:30） 【第3日：7～9コース】 令和7年9月8日（月）（9:30～16:30） 【第4日：10～12コース】 令和7年9月9日（火）（9:30～16:45）
--------------------	--

令和7年度 大学コンソーシアム富山 県内企業訪問事業
コース及び訪問企業・機関

① 9月4日（木）

コース名	【午前】	【午後】
1	朝日印刷(株)	(株)インテック
2	十全化学(株)	富山県庁
3	富山住友電工(株)	(株)CKサンエツ

② 9月5日（金）

コース名	【午前】	【午後】
4	富山テレビ放送(株)	(株)北日本新聞社
5	辻建設(株)	北陸電力(株)
6	(株)能作	三芝硝材(株)

③ 9月8日（月）

コース名	【午前】	【午後】
7	(株)スギノマシン	KOKUSAI ELECTRIC CORPORATION (株)国際電気セミコンダクターサービス
8	(株)カジメイク	北陸コカ・コーラボトリング(株)
9	富山市役所	(株)北陸銀行

④ 9月9日（火）

コース名	【午前】	【午後】
10	(株)富山村田製作所	あいの風とやま鉄道(株)
11	北陸コンピュータ・サービス(株)	(株)アスパコミュニケーションズ
12	YKK(株)	(株)サンリッツ

≪研修の模様≫

〈開会式〉 開会あいさつ（中 学長補佐・就職・キャリア支援センター長）／スケジュール、注意事項の伝達



〈コース別ミーティング／移動〉



≪学生レポート（コース毎に抜粋）≫

Q.訪問先企業(機関)について印象に残ったことや感じたこと

1. インテックでは、IT 業界で求められる「学び続ける姿勢」を会社全体で支える体制が整っていることに驚きました。手厚いサポートが社員のやる気や成果に直結し、一人ひとりの生産性向上につながっていると感じました。このような環境が、挑戦を後押ししている点を学びました。朝日印刷では、医薬品や化粧品の安全を守るために品質管理を徹底している様子に感銘を受け、仕事に誇りを持つ姿勢を大切にしたいと思いました。（1コース 富山大学）
2. インテックでは、オフィスの雰囲気明るく、社員同士が自然に協力し合う様子が印象的でした。専門性の高い業務を行いながらも、風通しの良い環境が整っており、安心して挑戦できる職場だと感じました。朝日印刷では、工場内を実際に見学し、厳しい基準を一つひとつ確認しながら作業する姿勢に驚きました。目に見えにくい部分で信頼を支えている点が強く心に残り、責任を持って仕事に取り組むことの大切さを学びました。（1コース 富山大学）
3. 訪問先企業では、社員一人ひとりが自らの役割に誇りを持ち、チーム全体で協力しながら業務に取り組む姿が非常に印象的でした。企業理念が日々の業務にしっかりと根付いていることが、説明を通して強く伝わってきました。また、地域社会への貢献を意識した取り組みも紹介され、単なる利益追求にとどまらず、社会的責任を果たそうとする姿勢に深く共感しました。こうした姿勢から、企業としての熱意や挑戦する姿勢が感じられ、非常に刺激を受けました。（2コース 富山大学）
4. 富山県庁では、割り当てられた業務以外にも自分の希望する仕事に志願して取り組める制度が印象的でした。異動が多い中でも、自分の意欲を活かせる仕組みがあることを知り、安心感を持ちました。十全化学では、福利厚生充実や働きやすいオフィス環境が魅力的で、社員を大切にする姿勢が伝わってきました。（2コース 富山国際大学）
5. 今回の企業訪問で、富山住友電工では、従業員の安全を守るための設備や配慮が実際に見られ、安心して働ける環境づくりがされていることが良かった。CK サンエツでは、従業員の方々が率直に話してくださり、働く人のリアルな声を聞いたことで、社会人としてのイメージを持つ良いきっかけになった。（3コース 富山大学）
6. 製造業の現場では、機械が多く熱を使うため気温が高く、熱中症のリスクがあることや、機械による巻き込み事故を防ぐための安全対策が重要であることを実際に見て体感できたのが印象に残りました。こうした現場の「大変さ」や「安全への配慮」は、見学を通して初めて実感できる貴重な学びでした。（3コース 富山短期大学）
7. メディア企業に対して堅いイメージを持っていたが、実際に訪問すると社員の個性や得意なことが活かされ、社会貢献にもつながる魅力的な職場だと感じた。富山テレビでは明るく楽しい雰囲気の中で自分を表現できる面接が印象的で、北日本新聞では記事や広告に関わる多様な役割分担から仕事の重要性を学んだ。（4コース 富山大学）
8. 富山テレビも北日本新聞社も、富山県民を第一に考え、県や国を跨いででも必要な情報を届ける姿勢に感動した。地方紙・地方局ならではの役割を果たしながら、地域活性化に貢献していることに尊敬の念を抱いた。メディアで働く方々の姿を間近で見て、プロの仕事の凄さを実感できたことは、自分にとって大きな学びとなった。（4コース 富山短期大学）

9. 辻建設さんでは、「建設の仕事はこの先も絶対になくならない」という言葉に、AI 時代でも必要とされる仕事の力強さを感じ、共感した。北陸電力さんでは、フレックス対応制度により、働く時間を柔軟に選べる点が、現代に合った働き方だと感じた。（5 コース 富山大学）
10. 辻建設さんは、創業 110 年で黒字を継続している点が印象的。福利厚生では海外旅行や無料ジム利用が魅力的。建築だけでなく災害対策活動も行っていることを初めて知った。北陸電力さんは、企業の規模の大きさと経済力に驚き、地域に貢献する会社だと感じた。福利厚生ではメンター制度やフレックスタイム制が魅力的で、就活のアドバイスも参考になった。（5 コース 富山大学）
11. 能作では、地域を大切にし、好きなことを仕事にしている社員が多く、楽しく働ける環境が印象的だった。また、職人の花瓶がエントランスに飾られていたことから、職人を大切にする企業文化を感じた。三芝硝材では、ガラスの種類や加工技術を実際に見て学ぶことができ、技術力の高さと面白さに感動した。（6 コース 富山国際大学）
12. 能作では、「自分たちだけで大きくなったのではなく、多くの人に支えられている」という言葉が印象的で、謙虚で周囲を尊重する姿勢に惹かれた。地域や職人を大切にする企業文化が感じられ、人とのつながりを重視する会社の姿勢が印象に残った。三芝硝材では、職人の高い技術力と丁寧な仕事ぶりが伝わり、ものづくりへの真摯な姿勢に感動した。（6 コース 富山短期大学）
13. スギノマシンでは、水を使った金属加工技術に驚き、ものづくりにおける水の活用の多様性を学んだ。国際電気セミコンダクターサービスでは、集中力と根気が求められる作業の大変さを実感。どちらの企業も社員同士の雰囲気が高く、安心して働けそうだと感じた。（7 コース 富山高等専門学校）
14. スギノマシンでは、工場にレーンがなくすべてオーダーメイドで機械を製造している点に驚き、ものづくりの現場を肌で感じる事ができた。海外展開では現地の気候や特色に合わせた製品づくりをしている点も印象的だった。国際電気セミコンダクターサービスでは、社員同士の仲の良さからアットホームな職場環境を感じた。超音波装置による半導体の洗浄技術から、品質管理の徹底ぶりにも感心した。両社とも高い技術力と働きやすい雰囲気が魅力的だった。（7 コース 富山県立大学）
15. 工場見学や説明を通じて、企業が地域や環境への貢献を重視していることに感銘を受けた。社員が利益だけでなく社会的価値を大切にしている姿勢に驚きと尊敬を感じた。「失敗をどう乗り越えたかを重視する」という言葉が心に残り、自分も失敗を恐れず挑戦したいと思った。（8 コース 富山大学）
16. カジメイクは創業 100 年以上、北陸コカ・コーラボトリングは 63 年目と、どちらも長く続いている理由に強い印象を受けた。両社とも時代の変化に柔軟に対応し、工夫や改善を重ねてきたからこそ今も続いていると感じた。自分も変化を恐れず、挑戦する姿勢を学びたいと思った。（8 コース 富山県立大学）
17. 富山市役所では座談会を通じて、公務員の具体的な業務や休暇制度について直接話を聞くことができ、理解が深まりました。北陸銀行ではローン業務を体験し、職場の柔らかな雰囲気にも触れることができ、どちらも想像以上に親しみやすい職場であることが印象に残りました。（9 コース 富山大学）
18. 今回の企業訪問を通じて、想像以上に社内環境が良い職場であることを知り、社会人になることへの不安が軽減されました。職員の方々が丁寧に分かりやすく話してくださり、学生と社会人の違いを実感する貴重な機会となりました。（9 コース 富山国際大学）

- 19.どちらの企業でも社員の方とフランクに交流でき、会社や事業内容について多くのことを聞くことができて良かったです。実際に働く人のエピソードから、現場でしか分からないやりがいや学びを知ることができました。全く知らない分野でも、働きながら学べる点が魅力的だと感じました。（10コース 富山短期大学）
- 20.最初に訪れた富山村田製作所では、社内で再生可能エネルギーを生み出し活用する取り組みが印象的でした。まだ十分ではないとのことでしたが、今後の改善や発展の方向性に興味を持ちました。あいの風とやま鉄道では、利用者の立場では気づきにくい多くの工夫があることを知り、鉄道運行の裏側に関心が深まりました。今後は利用する際に、そうした工夫を意識して利用したいと思います。（10コース 富山大学）
- 21.IT・情報系企業でも多くの人と関わり、明るい社風や充実した福利厚生があると知った。お客様のニーズ把握が重要で時間もかかること、営業系の仕事もあることに驚いた。うまくいかない時も諦めずに取り組む姿勢が大切だと学んだ。（11コース 富山大学）
- 22.同じ業種でも企業ごとに方針や強みが異なると実感した。北陸コンピュータサービスは堅牢なサーバ保守体制が印象的だった。アスプ・コミュニケーションズは業務の細分化と効率性が特徴的だった。それぞれの工夫が企業の特色を生み出していると感じた。（11コース 富山県立大学）
- 23.初めての企業訪問で、説明だけでは分からない社内の雰囲気や社員の姿勢を知ることができ、貴重な経験になりました。サンリッツの座談会では年齢の近い方と話せて親近感が湧き、人生の先輩との対話を通じて自分の将来について考える良い機会になりました。（12コース 富山大学）
- 24.企業訪問を通じて、各社の理念への取り組み姿勢を学びました。特に YKK さんでは、若手の意見がすぐ実行に移される環境や、就職後のビジョンを持つことの大切さを知り、自分もやりたいことを実現するために働き方を考えたいと思いました。（12コース 富山県立大学）



Q. 今回の県内企業訪問に参加して得たこと

1. 現地での企業説明を通じて、実際の会社の雰囲気を感じながら、さまざまな情報を得ることができた。若手社員の方々からディスカッション形式でお話を伺うことで、これまでの苦労や、就職活動・面接で印象に残ったこと、社員の人柄などについて詳しく知ることができ、就職活動において何を重視すべきかが明確になった。また、自身の将来のビジョンや企業選びにおいても、大いに参考になると感じた。（1コース 富山国際大学）
2. 県内企業訪問事業を通じて、企業が地域に根ざしながら事業を展開し、社会に貢献している姿を学ぶことができました。実際の現場を見学することで、地域課題に向き合いながら価値を創出している企業の取り組みに触れ、自分も将来は地域に貢献できる仕事に携わりたいという思いが強まりました。この経験を今後の就職活動に活かし、富山の発展に寄与していきたいと考えています。（2コース 富山国際大学）
3. 県内企業訪問を通じて、実際に自分の目で確かめることの大切さを実感しました。安全管理などの現場の工夫は、見て初めて理解できるものでした。座談会では「もっと企業を調べてから入社すべき」との話があり、企業を深く知ることの重要性を改めて感じました。（3コース 富山大学）
4. 実際に企業を訪問し、話を伺ったことで、企業ごとの雰囲気や働き方の違いを直接感じ取ることができ、大きな学びとなりました。訪問前に抱いていたイメージと実際の様子にはギャップがあり、現場に足を運ぶことの重要性を改めて実感しました。また、自分の好きなことや強みを社会の中でどのように活かせるかを考えるきっかけとなり、将来の進路や働き方について、より具体的にイメージできるようになりました。（4コース 富山大学）
5. 業種という一本の軸だけで仕事を見て考えるのではなく、福利厚生、働き方、労働環境などのさまざまな視点から企業を見て探すことが大切だと思った。自分の仕事に対する視点が広がったと感じてよかった。（5コース 富山大学）
6. 実際に企業を訪問することで、教科書やインターネットだけでは分からない「働く現場の空気」を体感することができました。能作では、伝統と革新を両立させる姿勢を、三芝硝材では、技術を通じて社会に貢献する姿勢を学び、働くことの意義について改めて考えるきっかけとなりました。自分の将来についても、より身近に考えられるようになりました。（6コース 富山短期大学）
7. 今回の企業見学では、各企業の特色や現場の雰囲気を直接感じ取ることができ、大きな収穫となりました。専門的な知識や技術は入社後でも身につけられると伺い、今の自分には基礎学力をしっかりと固めておくことが重要であると改めて実感しました。そのうえで、授業で学んだ内容に加えて、自分なりに知識を深めたり、興味を持った分野をさらに深めておくことが将来につながると感じています。（7コース 富山高等専門学校）
8. 大学生のうちにさまざまな経験を積み、視野を広げておくこと、そして積み重ねた経験をもとに、自分のことを自分の言葉で語れるようになることの大切さを実感しました。また、人それぞれ入社理由は異なり、就職先を決める際には、自分が何を重視したいのかを明確にすることが重要であると感じました。（8コース 富山大学）
9. 県内企業訪問事業に参加し、企業の特色や事業内容だけでなく、地域とのつながりや社会に果たす役割についても学ぶことができました。実際に働く現場を見学し、社員の方々の姿勢に触れることで、仕事に対する責任感や協働の大切さを実感しました。この経験を通じて、自分の将来像をより具体的に考えるきっかけとなり、今後の就職活動に活かしていきたいと考えています。（9コース 富山国際大学）

10. 今回の活動を通じて、働くことに対する新たな視点を得ることができました。これまで私は、働くとは企業の成功のために力を尽くし、労働者は生活に必要な賃金を得るために成果を出し、自ら多くの仕事をこなさなければならぬものだと思えていました。しかし、今回訪問した二つの企業では、労働者同士の助け合いが充実していることを知り、私が主観的な偏見を抱いていたことに気づかされました。（10 コース 富山大学）
11. 事前学習で情報を得るよりも、実際に企業を訪問することで、その会社が何をしているのかをより深く理解することができました。自分の目で業務内容を確認することの重要性に気づきました。また、社員の方と直接話すことで、現場の生の声を聞くことができ、会社説明とは少し異なる側面も知ることができました。こうした社員の方との対話も非常に重要だと感じました。さらに、自分の軸を定めたうえで就職活動を進め、そこから業界などを調べていくことが大切だと学びました。気になっている企業同士の違いを比較することで、その違いが企業の個性や社風につながっていることを理解しました。今後は、なぜその違いが生まれるのかについても考えていきたいと思います。（11 コース 富山大学）
12. 今回の県内企業訪問事業に参加し、実際に職場の雰囲気や社員の働く姿を見て、企業ごとに働き方の違いや特色を知ることができた。想像していた堅い雰囲気とは異なり、社内の雰囲気もアットホームな様子で意見交換が活発に行われており、協力する様子もたくさん見られた。こうした経験を通じて自分が将来働く際に大切にしていきたい職場の雰囲気や働き方について改めて考える良い機会となった（12 コース 富山大学）



Q.今後の就職活動に対する思い

1. 今後の就職活動では、企業の知名度や規模だけでなく、自分の成長を支える環境や、社会に貢献できる仕組みを重視したいと考えています。インテックで見た「学び続けられる体制」や、朝日印刷で学んだ「品質を守る責任感」は、自分の価値観と深く重なり、大きな気づきとなりました。自分の強みである行動力を活かし、多様な業界に触れながら進路を考え、納得のいく選択を通じて、地域や社会に貢献できる人材を目指して挑戦を続けていきたいです。（1コース 富山大学）
2. 私は短期大学生であり、限られた2年間の中で就職について考えなければならない状況にあります。正直、きちんとした企業に就職できるか不安で、ついこの間入学したばかりなのに、もう就職活動が始まることに対して辛さや恐怖を感じています。しかし、今回の企業訪問の経験を通じて、「今からでは少し遅いかもしれない」と思いつつも、勉強を重ねて就職活動に少しでも役立てていきたいという前向きな気持ちが芽生えました。（2コース 富山短期大学）
3. 就職活動においては、自己分析を十分に行うことが重要であると感じました。自分が何をやりたいのか、何を軸に働きたいのかを明確にすることが、就職活動を進めるうえで、より良い結果につながると考えています。（3コース 富山県立大学）
4. 今回の経験を通じて、企業の方々の熱意や働く姿勢に触れ、「自分も社会に役立つ人材になりたい」という思いが強まりました。就職活動においては、これまで学んできたことや自分の長所をどのように活かせるかを意識し、積極的に企業研究や自己分析に取り組んでいきたいと考えています。将来は、学びを行動につなげ、信頼される社会人を目指して努力を重ねていきたいです。（4コース 富山大学）
5. 就職活動に向けて、これまでの学生生活で培ってきた経験を、社会の中でどのように活かせるかを真剣に考えるようになりました。多くの企業や業界に触れる中で、自分の価値観や将来像を改めて見つめ直す良い機会になっていると感じています。不安もありますが、それ以上に、新しい人や環境との出会いを通して成長できることを楽しみにしています。自分に合った進路を見極め、納得のいく選択ができるよう、前向きに取り組んでいきたいです。（5コース 富山大学）
6. 今回の訪問を通じて、就職活動では「企業が何を大切にしているか」をしっかりと理解することが重要であると感じました。自分の興味や強みと企業の特徴を照らし合わせ、納得のいく進路を選びたいと思います。また、どんな仕事にも社会とのつながりがあることを学んだため、広い視野を持って企業研究に取り組みたいです。今後は積極的に情報を集め、自分の将来像を明確にしていきたいと考えています。（6コース 富山短期大学）
7. 今回の企業訪問を通じて、仕事のやりがいや技術の社会的な役割を知ることができ、自分の将来像を考えるきっかけとなりました。今後の就職活動では、単に有名企業や条件だけを見るのではなく、自分がやりがいを持って取り組める仕事や、自分の強みを活かせる環境を意識して選びたいと考えています。そのために、業界研究をさらに進め、多くの企業を知る努力を続けていきたいです。（7コース 富山高等専門学校）
8. 今回の経験を通じて、自分がどのような職場で働きたいかをより具体的に考える必要があると感じました。業種や仕事内容だけでなく、社風や人との関わり方も重視して企業を選びたいと思います。就職活動では、自分の価値観に合った企業を探し、納得のいく選択ができるよう積極的に情報を得て行動していきたいです。（8コース 富山大学）

9. 今回の経験を通じて、就職において重視するポイントが大きく変化しました。これからは、事業内容だけでなく、そこで働く方々がどのような思いや「やりがい」を持って社会と向き合っているのかを深く理解していきたいと考えています。表面的な情報に惑わされることなく、自分が心から誇りを持って働ける企業を見つけたいと思います。（9コース 富山大学）
10. 就職活動に対して実感が湧いていませんでしたが、今回の企業訪問を通して「もう考え始めなければならない」と少し焦りを感じました。どの企業に就職したいかはまだ定まっていないため、業種にとらわれず、さまざまな企業について調べていきたいと思います。そして、就職に際して必要だと感じたスキルを伸ばし、自己研鑽に努めていきたいと考えています。後から後悔しないように、今のうちから妥協せず、できるだけ早く行動を始めたいと思います。（10コース 富山県立大学）
11. まだ1年生ということもあり、将来なりたい職業は決まっていますが、少しずつ自己分析や業界研究を進めたいと考えています。今回学んだ「気になる企業を比較し、なぜ違いが生まれるのかを考えること」は、今後の企業選びに役立ちそうだと感じました。もし気になる企業が複数出てきたら、ぜひ実践してみたいと思います。今回訪問させていただいた企業で働いている方々がとても生き生きとされていた姿が印象的で、私もそのような社会人になりたいと強く思いました。自分の力を発揮できる企業で働けるよう、まずは資格取得や大学生活を楽しみながら、自分の興味のある分野を見つけることから始めていきたいです。今回の経験を通じて、就職活動への意識が高まり、とても有意義な時間となりました。（11コース 富山大学）
12. 今後の就職活動に向けて、しっかりと自分の軸を持ち、業種や企業を選択していきたいと考えています。たとえば、収入、休暇、福利厚生など、自分が就職活動において大切にしたいポイントを明確にし、自ら積極的に行動していきたいと思います。そのためには、十分に情報を調べることが必要だと感じており、今後は気になる企業へのインターンシップなども積極的に検討していきたいです（12コース 富山大学）

